



2005年5月16日

クラブツーリズム株式会社・広報

クラブツーリズムは、ヴァージンギャラクティック社と このたび日本での民間宇宙旅行の販売について提携いたしました

このたび、クラブツーリズム株式会社(本社・東京)は、世界で最初の商業的な宇宙旅行会社である、ヴァージンギャラクティック社(本社・英国)が計画中の有人弾道宇宙飛行の国内販売について提携したことを、5月12日の共同記者発表会において説明いたしました。

日本国内での独占販売権を得た当社は、ツアー参加者の募集を開始、2008年に予定される運航開始後1年以内に、貸し切りのフライトを1回催行いたします。

このような他企業との販売委託契約は、2004年9月28日の計画発表以来、ヴァージンギャラクティック社にとって最初のケースとなります。

2010年にクラブの数を1,000にまで増やす(クラブ1000構想)を進めているクラブツーリズムは、その事業の一環として、2001年9月に(クラブツーリズム・宇宙旅行クラブ)(在会員数は、現在約500名)を設立し、宇宙旅行の事業化を推進していきました。今回の提携は、宇宙旅行クラブをさらに発展させていきたいと考える当社側の提案により実現しました。

今回の提携について、会見の冒頭で、高橋秀夫・同社代表取締役会長兼CEOは、「夢の実現のカウントダウンが始まったことを意味する」とコメントし、「2007年より続々と還暦を迎える団塊シニアに向けて、宇宙旅行をアピールしていきたい」。さらに、「40~50年後には、月や火星への旅行に進化していくのも夢ではない。今回の提携が、日本における宇宙旅行時代の幕開けの一助となることを願っている」とご挨拶いたしました。

一方、ヴァージンギャラクティック社のウィル・ホワイトホーン社長は、「クラブツーリズムは、旅行会社として信頼ができ、多くの顧客の心をつかんでいる」と感じており、同時に、「世界で最初の商業的な宇宙旅行会社として、クラブツーリズムと提携をしたことを感謝している。また、多くの顧客がこの宇宙弾道飛行に参加されることを期待したい。このパートナーシップの実現により、何百人もの日本人が宇宙旅行をする夢を実現したい」と、挨拶されました。

ヴァージンギャラクティック社は、ポールアレン氏より技術供与を受け、今世紀中に商業的な宇宙弾道飛行を運航することが決定しています。パート・ルータン氏のスケールコンポジット社と、今後4年間に5機のスペースシップを建造する契約を結び、今までに、118ヶ国より約28,000人がこの宇宙弾道飛行の予約登録を済ませているとのこと。

詳細につきましては、別途「宇宙旅行・募集概要」をご覧ください。

以上

[広報窓口] クラブツーリズム株式会社 (担当) 森田

TEL.03-5323-6875 / FAX.03-5323-6956 / Email:press@club-tourism.co.jp

[お客様窓口] クラブツーリズム・宇宙旅行クラブ (担当) 木川田・高山・浅川

〒160-8308 東京都新宿区西新宿6-3-1 新宿アイランドウイ6階

TEL.03-5323-5566 / FAX.03-5323-6849

Email:spacetour.toiawase@club-tourism.co.jp